

株主優待のご案内

1,000株以上ご所有の株主の皆さまに株主優待品を贈呈いたしております。

ポイント1

年2回の贈呈

6月末現在の株主の皆さま

▶ 9月頃送付

12月末現在の株主の皆さま

▶ 3月頃送付

ポイント2

当社米穀製品を
お届けします。



6月末現在の株主さま	1,000株以上2,000株未満	2,000円相当の米穀製品
	2,000株以上	4,000円相当の米穀製品等※
12月末現在の株主さま	1,000株以上	3,000円相当の米穀製品

※うち2,000円相当は「切り餅」を12月中頃までに贈呈いたします。

おいしい レシピ

おコメを使った 豚トコもちっとおこわ

人気番組でも紹介された、簡単に作れるおこわ。目からウロコです！

■ 調理時間60分 ■ カロリー：423kcal/1人分

材料 4人分

コメ……………2合分
水……………1と3/4カップ
おかき……………7個
豚ロース肉……………150g
酒……………小さじ1
しょう油……………小さじ1
しょうが汁……………少々
三つ葉……………1束
しょうが……………1/2片

- 1 コメをといで炊飯器に入れる。
- 2 豚ロース肉は1センチ角に切り、酒、しょう油、しょうが汁と絡めて下味をつけておく。
- 3 1におかきと汁気を切った豚ロース肉と水を加えて炊く。
- 4 炊きあがったら千切りにしたしょうがと2cmの長さに切った三つ葉を加えてさっくり混ぜる。
- 5 器に盛り、好みで山椒粉をかけていただく。



すべてのお客さま、お取引先さまに喜ばれる
「新たな価値創造」実現に向けて

日本食の素晴らしさを発信し、健康で楽しいライフスタイルの実現をサポートしてまいります。

変わらないもの

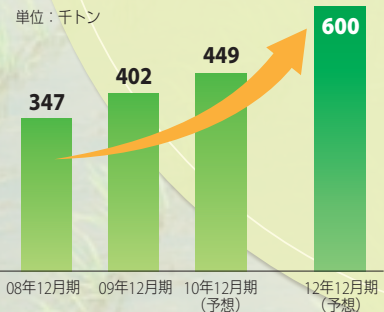
広域米穀卸としての確固たる地位

コメの安定供給は当社グループの社会的使命と認識しています。これまで培ってきた信頼関係のもとに、全国の生産地から仕入できる体制を構築し、お客さまが必要とする商品を安定的に供給する体制を確保しました。

今後は①既存取引先におけるシェア拡大②新規取引先の獲得③生産体制の再構築④グループ品質管理・生産管理レベルの向上、の4点を達成し、広域米穀卸としての確固たる地位を確保するために、更なる事業展開を進めてまいります。

業界トップクラスの規模

お客さまが必要とする商品を安定的に供給してきた結果、取引数量は年々増加しています。2012年12月期に取引数量60万トンを目指しています。



おいしさをお届けする 自社ブランド4シリーズ

家庭用精米として、「純づくり」「特別栽培米」「とがずに炊ける無洗米」「木徳神糧セレクション」という自社ブランド4シリーズを取り揃えています。全国均一したサービスをお客さまにお届けする一方、エリアマーケティングに徹した営業活動をしています。



変わるもの

グローバル展開と付加価値商品の開発

コメの消費減少や民間の在庫過多等により販売価格が下落する厳しい環境の中、消費者は価格を重視しつつも新たな価値も求めています。広域米穀卸としての確固たる地位の確保に加え、当社グループはすべてのお客さま、お取引先さまに喜ばれる「新たな価値創造」実現に向けて、「グローバルなコメビジネスの展開」「新しい用途・付加価値商品開発の強化」等を積極的に推進してまいります。

当社グループ だからできる 三国間貿易の拡大

三国間貿易とは、当社が海外において生産や仕入れたコメを国内に持ち込むことなく第三国へ販売する貿易形態です。当社グループでは20年来のベトナムやタイ等のコメ生産国で培ったノウハウを活かし、各種ジャポニカ米を、東南アジアをはじめヨーロッパ等の地域に販売しています。取引数量も年々増加しており、過去2年間で約37%増加しています。



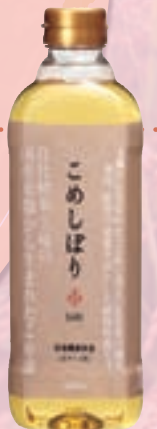
当社グループ だからできる コメの新たな価値創造

コメ卸会社だから作れる
国産コメ糠だけで作ったこめ油。

こめしぼり

「こめしぼり」は自然の恵みをいっばいに受けた<国産>玄米の種皮、果皮、胚芽の栄養を活かした植物油です。

- 当社大型精米工場からの鮮度の高い国産コメ糠のみを使用し製造しております。
- 他の油の混入を防ぐため、各工程ごとに区分しております。
- 遺伝子組換えの心配はございません。



持続的な発展に向けた成長戦略を積極的に打ち出してまいります。



代表取締役社長 平山 惇

Q 当上半期の営業状況と成果についてお聞かせください。

A 米穀事業が販売増ながら価格下落の影響を受ける中、鶏卵事業および食品事業の不振が響き、減益となりました。

主力の米穀事業については、ここ数年来の価格下落とコメ消費の減少傾向により、引き続き厳しい状況が続いています。当上半期においては、販売数量は前年同期比で増加しながらも、単価の引き下げによって売上高は微減となっています。また、ミニマム・アクセス米(→P.5)の受け渡しが下半期にずれ込んだことも影響しました。

他の事業については、飼料事業が販売数量を堅調に伸ばしましたが、鶏卵事業が価格競争の激化による減収減益を余儀なくされ、食品事業も減益となりました。

その結果、当上半期の連結業績は、売上高が前年同期比で微減となり、利益面では減益となりました。(下記グラフ参照)

Q 現在、どのような経営課題への対応が求められていますか？

A 中期的には、米穀業界が抱える事業環境の厳しさに対応し、勝ち残っていくための変化を遂げることが課題です。

足もとの状況としては、6月前半まで低温による不作が懸念された平成22年産米が、6月後半以降の天候好転によって民間予測では作況指数102(→P.5)という豊作基調で推移しているため、平成21年産米の販売消化を急ぎながらベストタイミングで22年産米に移行すべく、産地情報の収集と最適な営業判断が求められています。

通期業績については、平成22年産米の価格下落に懸念がありますが、売上高を維持しつつ利益を挽回し、期初計画値の達成を目指します。

中期的な経営課題としては、現在の米穀業界が抱える事業環境の厳しさに対応し、勝ち残っていくための変化を遂げることが大きなテーマとなっています。人口減少・少子高齢化の影響や消費者における嗜好・ライフスタイルの変化を背景に、米穀業界は前述の通り、価格下落およびコメ消費の減少傾向が続く、利益水準の低下に見舞われています。また、農水省による「戸別所得補償制度」の実施や、今秋から施行予定の米トレーサビリティ法(→P.5)など、米価への影響や流通規制強化につながる要素が増えつつあります。

こうした厳しさを受けて、米穀業界では卸売業者の淘汰が進み、今後数年のうちに業者数が大幅に減少するものと予想しています。当社はこの環境変化をチャンスと捉え、将来の発展に向けた成長戦略を積極的に打ち出していきます。

Q 成長に向けたテーマと取り組み状況をお聞かせください。

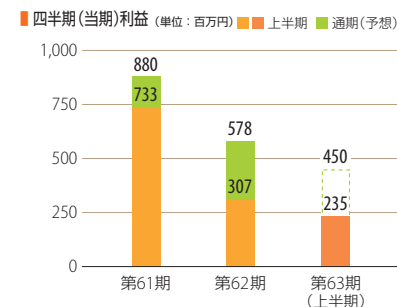
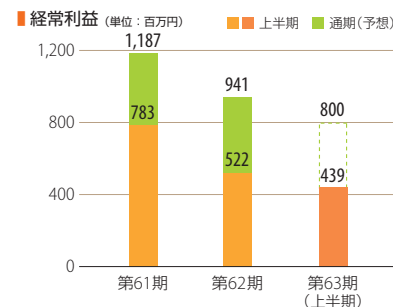
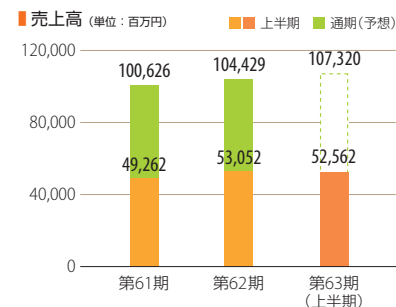
A 付加価値商品戦略と同時に、海外事業の拡大と国内の生産増強を進め、コメの年間取扱量60万トンを目指します。

当社が持続的に成長していくためには、既存のビジネススタイルから脱却し、より付加価値の高い事業を展開することによって、利益水準を向上させていく必要があります。

その一環として、コメの新たな需要開拓を目指したコメ偏(米粉やコメ加工品など)の商品開発、低たんぱく米シリーズの販売拡大、タイ産高級香り米の販売強化など、付加価値商品戦略を積極的に展開しています。当社では、こうした新商品・新分野の開拓を担う専門部署として企画開発事業部(旧・事業戦略開発室)を設置しており、「ライスミルク」の商品化など、さまざまな取り組みを進めています。

また、成長機会を海外市場に求めていくグローバルビジネスも重要な成長テーマです。現在は、アメリカ、タイ、ベトナムに拠点を置

■ 業績の推移 (連結) [Consolidated Business Results]



Pick Up! 企画開発事業部の取り組み

- 新商品・新分野の開拓を推進すべく、「事業戦略開発室」から部門昇格
- こめ油「こめしぼり」をリニューアル製品として投入
- 「ライスミルク」などを開発



■ トップインタビュー Top Interview

き、海外生産したジャポニカ米を東南アジアや欧州に販売する三国間貿易などを展開中です。今後は中国を新たな舞台に、現地の米食拡大を見込んだ販売を行っていきます。近々中国に現地法人を設立し、東北三省で生産したコメを日系スーパーや外食産業に販売していく計画です。

一方、日本国内では広域米穀卸としての生産能力増強を図ります。当社の精米工場は関東をはじめ、関西や九州などでもフル稼働状況となっており、これを補うべく、他社との提携やM&Aを進めていく考えです。8月には、静岡市清水にある米穀卸会社を木徳東海株式会社として子会社化しました。

これらの成長戦略を通じて達成する目標数値として、平成24年12月期には、コメの年間取扱量を前期末の40万トンクラスから、60万トンクラスに引き上げたいと思っています。

Q 株主の皆さまへのメッセージをお願いします。

A コメの年間取扱量の拡大と同時に、より新しい価値を世の中に提供し、消費者に喜ばれるものづくりに努めてまいります。

当社は、安定的な利益還元の実施を基本方針として、年間配当1株当たり5円の維持に努めています。当期もこの方針に基づき、中間配当2円を実施させていただくとともに、同3円の期末配当を予

定しています。また、株主の皆さまのご支援に対する感謝の気持ちを含め、同時に米穀製品の魅力をお伝えすべく、株主優待品の贈呈についても継続させていただきます。

当社は創業130周年を迎える2年後に、前述の通りコメの年間取扱量60万トンの達成を目指します。そして、コメ以外の品目についても、より新しい価値を世の中に提供し、消費者に喜ばれるものづくりに努めてまいります。株主の皆さまにおかれましては、こうした取り組みを通じて、さらなる成長に向けた変化を遂げつつある当社の姿にご注目いただき、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



用語解説

ミニマム・アクセス米

平成5年、GATT(関税貿易一般協定)のウルグアイラウンド農業合意によって制定されたもので、日本政府が高関税によってコメの輸入を制限する代わりに、日本が最低限輸入する義務があるとされている量の外国米。

作況指数

10a(アール)当たりの平年収量(平年値)を100として、当該年度産の収量を表す指数。平成21年産水稻の全国作況指数は98(やや不良)。米穀データバンク発表による平成22年産の予想は102(やや良)で、2年ぶりの豊作見通し。

米トレーサビリティ法

米穀事業者に対し、米穀等の譲渡・譲渡等に係る情報の記録および産地情報の伝達を義務付ける法律。食品としての安全性確保、表示の適正化、流通の円滑化、産地情報の提供促進などを目的とする。平成22年10月1日より施行。

木徳神糧がお届けする 新商品の ご案内

e顔*食卓プロジェクト

「おこめにすすもう」シリーズ

主食である「おこメ」を中心にしたおいしい生活をもっともっと喜んでいただくために開発された「おこめにすすもう」シリーズに新しい仲間が続々登場!!1合ごとのパックのため、おいしさをキープすることができます。



毎日続くマンナンが入った
おいしいおこめ

- ベストブレンド。
- 1合パックで、おいしさキープ。
- 「ひとめぼれ」無洗米を使用。



国産粉(もみ)発芽精米と
マンナンが入った
こだわりのおこめ

- 特別栽培米「ひとめぼれ」に
おいしい歯ごたえ。
- マンナンヒカリ、国内産大
麦、黒米をブレンド。

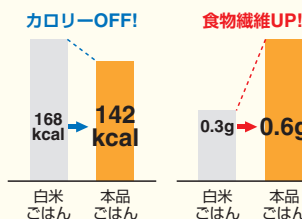


厳選国産八穀と
マンナンが入った
あじわいのおこめ

- 彩りあざやかなバランス配合。
- 「岩手県産雑穀八種」を適量
配合。

体にやさしい、マンナンヒカリ

マンナンヒカリはこんにやく精粉を使って米粒状に加工した食材。食物繊維がたっぷり入り、カロリー調整のお手伝いをいたします。



※1.毎日続くマンナンが入ったおいしいおこめの場合
※2.茶碗1杯160gとして換算/e顔*食卓プロジェクト調べ

おいしい

新商品を 使ったレシピ

雑穀ライスサラダ

調理時間5分

マンナン〜雑穀の食感ハーモニーを楽しむレシピ

サラダ菜(レタス)と飾り用のお好みの野菜以外の材料をフレンチドレッシングで和え、キレイに盛りつければ完成。
(黒米の色素がドレッシングで和えることにより、ごはん全体にいきなりピンク色のごはんになります。)

●材料 2人分

- 厳選国産八穀とマンナン 1/8合(炊いたものもしくはレンジ解凍したもの)が入ったあじわいのおこメ ※熱いまま使用
- ミックスビーンズ 50g
- プチトマト 3個を4つ割にして使用
- サラダ菜 6枚(レタスなら3枚)
- その他お好みの野菜 適量
- フレンチドレッシング 適量(目安: 大きさ2~3)(色の淡いドレッシングで酸味の効いているものが完成時にごはんの色がキレイに見えます。)



レタスで巻いていただいても美味しく召し上がれます。



<http://www.kitoku-shinryo.co.jp/okomenisusumo/>

■ 連結財務データ Consolidated Financial Data

財務の状況

単位：百万円

	前期末 2009年12月31日現在	当第2四半期末 2010年6月30日現在	増減額	要 因
流動資産	20,577	14,782	△5,795 ↓	たな卸資産△3,190百万円、売掛金等△1,477百万円、前渡金△1,115百万円。
固定資産	8,525	8,467	△58 ↓	有形固定資産△98百万円。
総資産	29,102	23,250	△5,852 ↓	—
流動負債	21,120	15,578	△5,542 ↓	買掛金等△2,492百万円、短期借入金△1,991百万円、その他△751百万円。
固定負債	2,730	2,237	△493 ↓	長期借入金△286百万円、社債△220百万円。
純資産	5,252	5,433	181 ↑	利益剰余金+210百万円。

キャッシュ・フローの状況

単位：百万円

	前第2四半期 2009年1月1日～ 2009年6月30日	当第2四半期 2010年1月1日～ 2010年6月30日	増減額	要 因
営業活動による キャッシュ・フロー	610	2,975	2,365 ↑	仕入債務の増加+1,315百万円、たな卸資産の減少+997百万円。
投資活動による キャッシュ・フロー	△228	△225	3 ↑	—
財務活動による キャッシュ・フロー	146	△2,659	△2,805 ↓	短期借入金の減少△3,010百万円。

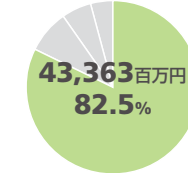
※業績の推移につきましてはP.3をご覧ください。

■ セグメント別営業概況 Segment Information

米穀事業

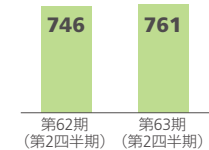


売上高構成比



営業利益

単位：百万円



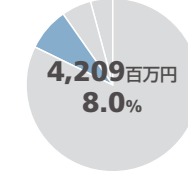
コメ消費の減少、民間在庫の過多を背景に販売価格が下落する中、玄米販売数量を増加させたものの、精米販売数量が減少に転じたため、売上高は前年同期比296百万円の減収となりました。

また、製造コストダウンや販管費の節減等に努めた結果、営業利益は前年同期比15百万円の増益となりました。

食品事業

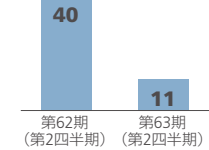


売上高構成比



営業利益

単位：百万円



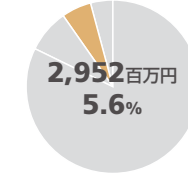
もち米関連や米粉、機能性食品等の販売が好調のため、売上高は前年同期比6百万円の増収となりました。

しかしながら、競争の激化や製造コストの上昇等で鶏肉加工販売や惣菜加工販売が不振となったため、営業利益は前年同期比29百万円の減益となりました。

鶏卵事業

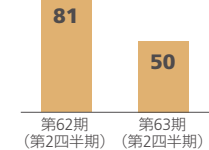


売上高構成比



営業利益

単位：百万円

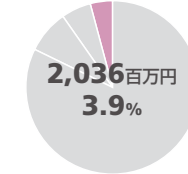


量販店等向けの家庭用卵も卸業者間の業務用卵も販売不振で、売上高は前年同期比274百万円の減収となり、営業利益は前年同期比31百万円の減益となりました。

飼料事業

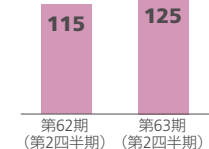


売上高構成比



営業利益

単位：百万円



飼料相場が下落する中、販売数量の増加に注力した結果、売上高は前年同期比73百万円の増収となりました。

また、利益率を確保した結果、営業利益は前年同期比10百万円の増益となりました。

Special Feature

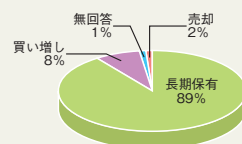
木徳神糧のココが知りたい Q&A

当社では、株主の皆さまのご意見・ご要望をお聞きし、今後の事業活動に活かしたいと考え、第62期株主通信をお届けした全ての株主の皆さまを対象に葉書形式のアンケートを実施いたしました。ご協力いただいた皆さまにあらためてお礼申し上げますとともに、その結果を以下の通りご報告申し上げます。 ※回答は上位3つを掲載しております。

調査概要

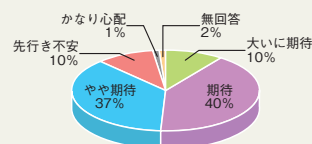
調査対象：全株主1,570名
調査期間：平成22年3月～5月
有効回答数：319件（返送率：20.3%）

Q 今後の当社株式についてどのような方針をお持ちですか？



約90%の株主の方に「長期保有」とお答えいただき、保有年数も「4年以上」の方が約80%いらっしゃることがわかりました。今後も長期的に保有いただけるよう企業価値を高めてまいります。

Q 当社の業績について現在どのような見解をお持ちですか？



「やや期待」も含め、80%以上の方に期待されていることがわかりました。業績予想を達成できるよう、グループ全体で事業拡大に取り組んでまいります。

Q その他、当社に対するご意見・ご要望があればお聞かせください。

自由記入欄では55名の方から株主優待に関するご意見をいただきました。精米製品を希望される方がいらっしゃる一方で、「特別な優待」「精米以外の米関連製品」を希望される方もいらっしゃいました。

今後も株主の皆さまのご期待に応えられるよう株主優待の充実にも努めるとともに、より魅力的な付加価値の高い製品開発にも注力し、株主優待、業績の両面で皆さまのご期待に応えられるよう努めてまいります。

皆さまからいただきました貴重なご意見やご要望を真摯に受け止め、今後の事業活動に活かしてまいりたいと考えておりますので、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

木徳神糧株式会社 ホームページのご案内

当社ホームページでは、企業情報やIR情報をはじめとした当社を理解していただくための有効な情報のほか、商品情報やコメのレシピ、お役立ち情報などを掲載しております。是非ご覧ください。

<http://www.kitoku-shinryo.co.jp>



■ 会社概要 (平成22年6月30日現在) Corporate Data

■ 会社概要

商号 木徳神糧株式会社
事業内容 米穀事業、飼料事業、海外事業、コメ加工食品事業
本店所在地 〒104-0061 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル2階
本社所在地 〒132-0015 東京都江戸川区西瑞江2-14-6 NFビル
TEL：03-5636-1501(代表)
FAX：03-5636-1601
資本金 5億2,950万円
従業員数 167名（臨時雇用者を除く）

■ 役員

取締役・監査役	執行役員
取締役会長 木村 良	執行役員 稲垣 英樹
代表取締役社長 平山 惇	執行役員 鎌田 慶彦
取締役副社長 松山 正吉	執行役員 竹田 光男
専務取締役 山本 幸雄	執行役員 佐藤 善雄
取締役常務執行役員 水野 正夫	執行役員 石田 俊幸
取締役常務執行役員 伊豫田直記	執行役員 大橋 正博
取締役執行役員 天川 誠	
取締役執行役員 小森 浩資	
取締役執行役員 三澤 正博	
常勤監査役 高橋 健治	
監査役* 松下 守	
監査役* 杉野 翔子	

※印は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

■ 株式情報 (平成22年6月30日現在)

■ 株式の状況

- 発行可能株式総数 30,000,000株
- 発行済株式の総数 8,530,000株
- 株主総数 1,558名
- 大株主

株主名	所有株式数	出資比率
木村謙三	405千株	4.75%
木村 良	341	4.00
濱田精麦株式会社	310	3.63
株式会社三菱東京UFJ銀行	300	3.52
木村友二郎	243	2.85
稲垣辰彌	230	2.70
水野正夫	219	2.57
木徳神糧従業員持株会	199	2.34
株式会社三井住友銀行	186	2.18
農林中央金庫	186	2.18

(注) 1. 所有株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 出資比率は、小数点第3位を四捨五入で表示しております。

■ 株主メモ

Stock Information

Shareholders Memo

事業年度 1月1日から12月31日まで
定時株主総会 毎年3月に開催いたします。
基準日 定時株主総会については12月31日、その他必要があるときはあらかじめ公告する一定の日
配当金受領株主確定日 12月31日及び中間配当金の支払を行うときは6月30日
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所 株式会社大阪証券取引所
公告方法 日本経済新聞